

令和4年度行政事業レビューシート ( 内閣官房 )

<b>事業名</b>	地方創生に資する地方国立大学の定員増の実現のための調査支援事業			<b>担当部局庁</b>	内閣官房副長官補	<b>作成責任者</b>			
<b>事業開始年度</b>	令和3年度	事業終了(予定)年度	令和4年度	<b>担当課室</b>	デジタル田園都市国家構想実現会議事務局	参事官	中野 理美		
<b>会計区分</b>	一般会計								
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	まち・ひと・しごと創生法 第3条 第3項(平成26年法律第136号)			<b>関係する計画、通知等</b>	・デジタル田園都市国家構想基本方針(令和4年6月7日閣議決定) ・第2期「まち・ひと・しごと創生総合戦略」(2020改訂版)(令和2年12月21日閣議決定)				
<b>主要政策・施策</b>	地方創生			<b>主要経費</b>	その他の事項経費				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	コロナ禍も踏まえた18歳人口の減少、グローバル化やSociety5.0時代の到来など、大学を取り巻く環境の変化を踏まえ、令和2年度に新たに開催した「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議」において、これまで運用上認められていなかった地方国立大学の定員増について限定的・特例的に認めることが提言されており、こうした提言を踏まえ、地域や産業界のニーズを踏まえた地域にとって真に必要な地方国立大学定員増の実現を目指す。								
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	「地方創生に資する魅力ある地方大学の実現に向けた検討会議 取りまとめ」において、地方創生に資する地方大学が目指すべき方向性について示されたほか、地方国立大学の定員増については、厳正な審査・選定を行った上で、限定的・特例的に認めるべきと提言されている。こうした内容を踏まえ、地域や産業界のニーズを踏まえた地域にとって真に必要な地方国立大学の定員増の実現に向け、地域の産業動向や人材ニーズ等に係る調査を行い、定員増に係る具体的な構想の策定を支援するとともに、定員増に係る地方国立大学からの申請について、内閣官房が文部科学省と連携し審査を実施することとなっていることから、真に地方創生に資する定員増の取組構想の選定に資するため、必要な調査を実施する。								
<b>実施方法</b>	委託・請負								
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度要求		
		補正予算	-	-	-	-	-		
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-		
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-		
		予備費等	-	-	-	-	-		
		計	0	0	50	45	0		
	執行額	0	0	37					
	執行率(%)	-	-	74%					
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	-	-	74%					
<b>令和4・5年度予算内訳</b> (単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由					
	諸謝金	45	0						
	計	45	0						
<b>活動内容</b> (アクティビティ)	地方国立大学の定員増の実現に向け、地域の産業動向や人材ニーズ等に係る調査を行い、大学の定員増に係る具体的な構想の策定を支援するとともに、定員増に係る地方国立大学からの申請について、内閣官房が文部科学省と連携し審査を実施することとなっていることから、審査会における真に地方創生に資する定員増の取組構想の選定に資するため、必要な調査を実施する。								
<b>活動目標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込
	審査会において真に地方創生に資する定員増の取組構想を選定する	定員増に係る取組構想の審査に向けた調査の実施件数 (国立大学が定員増の計画を検討するに当たり、若者の地域間移動の全国的な流れも踏まえる必要があり、令和4年度は、そのための共通の基礎的資料の作成を目的とした調査を実施)	活動実績	件	-	-	2	-	-
<b>単位当たりコスト</b>	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	
	経費執行額/定員増に係る取組構想の審査に向けた調査の実施件数		単位当たりコスト	百万円	-	-	18.5	15	
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標5年度	目標最終年度
	地域にとって真に必要な定員増に係る構想が実現する	申請した定員増の取組構想が採択に至った地方国立大学の数	成果実績	大学	-	-	0	-	-
			目標値	大学	-	-	2	2	-
			達成度	%	-	-	-	-	-
<b>根拠として用いた統計・データ名</b> (出典)	申請した定員増の取組構想が採択に至った地方国立大学の数を内閣官房において集計								

政策評価、 計画との関係	政策評価 表	政策		政策評価書 URL	-			
		新経済・ 財政再生 取組事項	分野:			-		
							(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:	-
<b>事業所管部局による点検・改善</b>								
国費投入の 必要性	項目				評価	評価に関する説明		
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	国の重要施策である地方創生の推進に向け、地方への新しい人の流れをつくるための施策の一環であり、社会のニーズを的確に反映している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	国の重要施策である地方創生の推進に向け、地方への新しい人の流れをつくるために必要な施策であり、魅力的な地方国立大学の実現に向け、国として積極的に調査支援を行う必要がある。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	魅力的な地方国立大学の実現によって、学生の地方還流・定着を促進することで、東京圏への一極集中は正につなげることが期待されていることから、本事業は必要かつ適切である。		
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				○	事業の実施に当たっては、受託者を一般競争入札で選定し、かつ複数の応札があったことから、競争性を確保したうえで支出先が選定されている。		
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				無			
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無			
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-	-		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				△	令和3年度事業では、特例的定員増に係る地方国立大学からの申請内容について、専門的観点から調査・分析し取りまとめた審査補助資料を作成・提供することで、内閣官房・文部科学省の審査会における真に地方創生に資する計画の選定に資することができたが、その資料の作成に要したコストが予定を上回ったため、△(一部できている)と評価した。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-	-		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				○	委託費は地方創生に資する地方国立大学の定員増の実現のための調査支援に要する経費であり、真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				△	令和3年度事業では、特例的定員増に係る地方国立大学からの申請数が当初見込みを下回ったためである。		
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-	-			
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				○	コスト削減等の観点から、本業務実施にあたり初年度の入札になることから、一者応札を回避するよう、調達前に作成した仕様書の案につき、公平性を保った上での受注可能事業者の調査を行うなど、競争性の確保に努めた。			
事業の 有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。				-	-		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。				○	特例的定員増に係る地方国立大学からの申請内容について調査・分析し取りまとめた審査補助資料等の作成について、知見を有する外部に委託することにより、審査会への質の高い情報提供を実施することができた。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。				△	令和3年度事業では、特例的定員増に係る地方国立大学からの申請内容について、専門的観点から調査・分析し取りまとめた審査補助資料を作成・提供することで、内閣官房・文部科学省の審査会における真に地方創生に資する計画の選定に資することができた。一方で、大学からの申請数が当初見込みを下回ったことから、△(一部できている)評価とした。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。				○	令和3年度事業では、特例的定員増に係る地方国立大学からの申請について、内閣官房・文部科学省の審査会において真に地方創生に資する計画を選定するため、申請内容について専門的観点から調査・分析した結果を取りまとめた審査補助資料を作成・提供し、審査に活用した。		

関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	事業番号		事業名
			-

点検・改善結果	点検結果	・特例的定員増に係る地方国立大学からの申請について、初回となる令和3年度審査には、2件申請があった。申請内容について、内閣官房と文部科学省の審査会においてそれぞれ審査を行った結果、いずれも採択には至らなかったものの、審査は、本事業で作成した審査補助資料が活用されたことにより、有識者委員が申請内容や周辺地域の現状を客観的に把握した上で、適正に実施することができた。
	改善の方向性	・今後は申請大学を取り巻く情報のみならず、広く地方大学を取り巻く状況に関する専門的な調査を実施し、審査会や大学等への情報提示を進めることで、真に地方創生に資する定員増の取組構想の選定に資するとともに、地方国立大学が実情に即したより具体的な計画を作成できるよう後押ししていく。

**外部有識者の所見**

・中央教育審議会大学分科会の「魅力ある地方大学の実現に資する地方国立大学の特例的定員増について」(令和3年2月)では、内閣官房に求めることとして、①率先して首長のリーダーシップを促すこと、②財政面も含めた支援を行うこと、③地方創生に資する観点について内閣官房で確認することができるよう必要な体制を構築すること、④省庁間の更なる緊密な連携を図ることが求められていた。これらのうち自治体の首長に係る政策実現に向けたルートについては、とくに内閣官房の取組が期待されると思料。大学からの申請数が少なかった理由はレビューシートの記述からは読み取ることができない。首長のリーダーシップが十分ではなかったのか、もしくはコロナが原因であるのか、あるいは第四期中期目標期間への移行の関係で大学側に十分な余力がなかったのか、内閣官房の取組や予算措置が十分ではなかったということなのか、それとも外部要因の影響があつてのことだったのか。あわせて分析的な記述も検討いただければ幸いである。

**行政事業レビュー推進チームの所見**

現状通り	外部有識者の所見を踏まえ、大学からの申請数が少なかった理由を分析した上、詳細な説明を追記すべき。また、執行実績を適切に概算要求に反映させること。
------	--

**所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況**

廃止	大学からの申請数が少なかった理由については、初年度の募集であり公募期間が短かったことなど様々な要因が複合的に影響しているものと推測できる。令和4年度の募集では公募期間を初年度の募集(令和3年度)時より長く設定することなどによって申請大学における十分な準備期間の確保に努めてきたが、所見を踏まえ、引き続き事業の有効性・効率性・成果実績について適切かつ的確に検証しつつ、予算の効率的執行に努めてまいりたい。
----	---

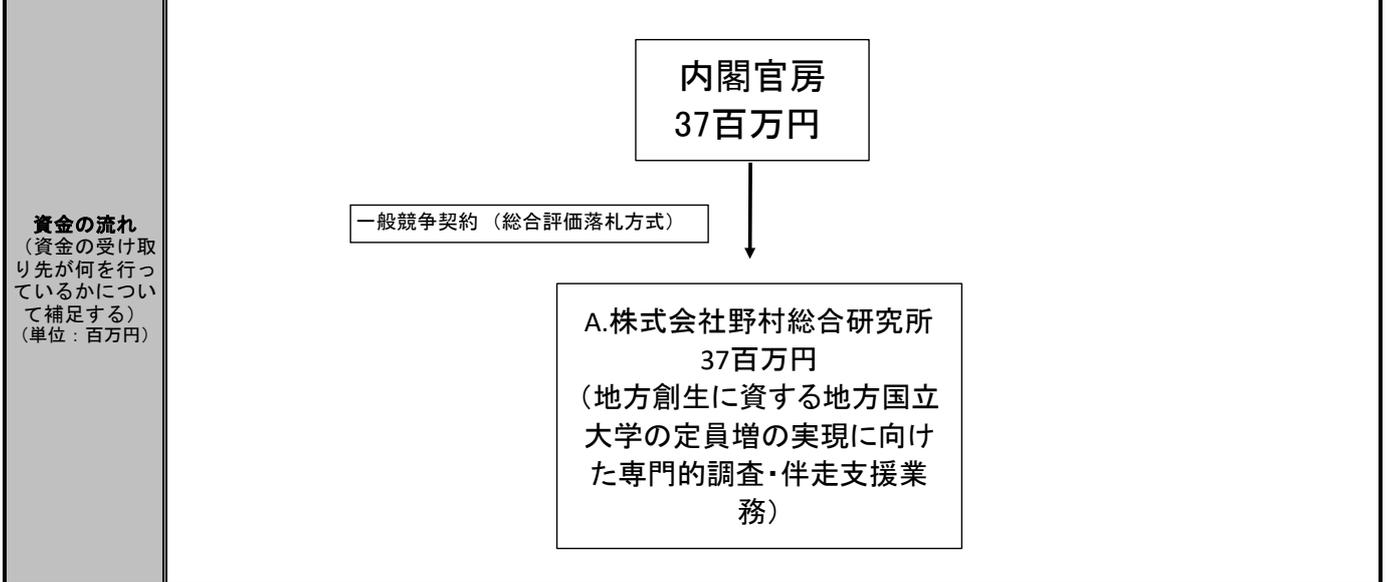
**備考**

-

**関連する過去のレビューシートの事業番号**

令和2年度	内閣官房	新03	0001		
令和3年度	2021	官房	新21	0001	

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で事情が	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
	諸謝金	地方創生に資する地方国立大学の定員増の実現に向けた専門的調査・伴走支援業務	37	-	-	-
	計		37	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社野村総合研究所	4010001054032	地方創生に資する地方国立大学の定員増の実現に向けた専門的調査・伴走支援業務	37	一般競争契約 (総合評価)	2	-	予定価格が類推される恐れがあるため、落札率は記載していない。